

信濃川・魚野川水防演習を実施しました

平成24年5月25日(日)

第一会場 長岡大手大橋下流の河川敷

今年は、水防関係機関どうし及び救難関係機関の連携、水防技術の向上のほかに、平成23年新潟・福島豪雨を踏まえ、住民の避難につながる情報伝達の確認を主眼に、「大切なふるさと大切な人を水害から守る 地域の力と絆」をみせようとい行いました。

各水防団の皆さんが、一つ一つの工程を確認しながら、的確に水防工法を実演しました。



演習に参加された、燕市から津南町・湯沢町までの水防団(消防団)のみなさん(約700名)



堤防の漏水を防ぐ月輪工法



川の水が堤防を越えることを防ぐ積み土のう



堤防が崩れることを防ぐ木流し工法



堤防が崩れることを防ぐシート張り工法

体験コーナー



土のうづくり体験



1時間当たり180mmの降雨の体験

土のうづくりは、水防団の方の大変さが実感できるものです。

降雨体験は1時間に降る雨の量で、日本観測史上の最高187mmに相当する、180mmの土砂降り体験をしてもらいました。

第二会場 長岡市立宮内中学校

主に、地元の住民の方約400名が参加しての住民避難訓練が行われました。

地元コミュニティラジオ放送にも協力をいただき、避難放送を配信してもらいました。